

令和8年度 四国支所公開講演会 デジタル情報を使って森林を読み解く 実施報告

四国支所では、研究成果等の広報・普及を目的として毎年公開講演会を開催しております。

今年度のタイトルは、 デジタル情報を使って森林を読み解く。

様々なデジタル技術を林業に生かそうとしている成果を 5 名の演者が紹介しました。各講演後の質疑応答も活発に交わり、有意義な講演会となりました。

行政機関、森林組合、民間、一般、関係法人等の方々にご参加いただきました。

ご来場いただいた皆様ありがとうございました。

1. 講演タイトルと講演者

講演1 3次元リモートセンシングデータの林分調査への応用

四国支所 志水 克人

講演2 デジタル公開情報を樹木の診断に活かす

高知県立森林技術センター 藤本 浩平

講演3 見えない防護柵を“見える化”するーデジタル情報でつなぐ「設計」と「維持管理」ー

多摩森林科学園 岡 輝樹

講演4 足元の地下世界をデジタルで可視化する

四国支所 山下 尚之

講演5 林業の再構築とデジタルの寄与

(一社)日本森林技術協会;森林総合研究所フェロー 宇都木 玄

2. 開催日 令和8年9月 30 日(水)

3. 開催場所 高知会館(高知市)

4. 参加人数 44 名(関係者含む)

開催風景

開催挨拶



講演1



講演2



講演3



講演4



講演5

